

# 紙芝居コンクール

子どもたちにいのちや食べ物大切さ、農業のすばらしさをわかりやすく、楽しく伝えていくため、「食農教育紙芝居」を募集します。食農教育の現場で使える紙芝居を個人で、親子で、グループで創作し、どしどしご応募ください!!



## 大募集!

募集期間 | 令和3年7月1日(木) ~ 10月15日(金)

※締切日消印有効

■審査員(敬称略)  
 長野 ヒデ子(絵本作家、紙芝居作家)  
 藤本 勇二(武庫川女子大学准教授)  
 正岡 慧子(児童文学作家)  
 JA全国女性組織協議会 役員  
 家の光協会 常勤役員

■応募と問い合わせ先  
 一般社団法人 家の光協会  
 読書・食農教育部 食農教育紙芝居係  
 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11番地  
 Tel:03-3266-9038 Fax:03-3266-9337

■主催と後援  
 主催：一般社団法人 家の光協会  
 後援：一般社団法人 日本児童文芸家協会  
 一般社団法人 全国農業協同組合中央会/JA全国女性組織協議会

優秀賞  
2作品  
賞状と賞金  
5万円  
副賞

佳作  
5作品  
賞状と賞金  
3万円

最優秀賞  
1作品  
賞状と賞金  
10万円  
副賞

副賞(JAタウンギフトカード)



一般社団法人 家の光協会

(一社)家の光協会はJAグループの一員として、雑誌『家の光』『地上』『ちゃぐりん』『やさい畑』のほか各種単行本の発行、食農教育や読書活動など、さまざまな出版文化活動に取り組んでいる団体です。

## 応募規定

- 応募資格** 年齢、性別、国籍を問わず、どなたでも応募できます。グループや複数応募も可能です。
- 各賞および副賞** ○最優秀賞…1作品/賞金10万円と賞状・副賞 ○優秀賞…2作品/賞金5万円と賞状・副賞  
 ○佳作…5作品/賞金3万円と賞状  
 ※入選作品の著作権は、主催者に帰属します。
- 内容** 子どもたちにいのちや食べ物大切さ、農業のすばらしさを発信する内容としてください。  
 ※場所を問わず全国どこでも演じられるよう、特定の農畜産物のブランド名等は使用しないでください。
- 作品上演対象** 幼児から小学生までの子どもを対象とします。
- 紙の仕様** ○絵のサイズは、縦約27cm×横約39cm。枚数は8~12枚程度。  
 ○用紙は画用紙くらいの厚紙を使用してください(八つ切り画用紙がおすすめです)。
- 描き方** ○立体作品は不可とします(貼り絵は可)。  
 ○紙芝居の絵の裏に脚本(文)を縦書きし、絵と脚本それぞれに通し番号を振ってください。  
 ※中面の「絵と脚本の書き方」参照  
 ○紙芝居の1枚めには絵の他にタイトルと作者名(ペンネームも可)を入れてください。作者名は、「脚本 ○○○○、絵 ○○○○」と書いてください。
- 応募方法** ○中面の応募用紙をコピーして、必要事項を記入し、作品といっしょに送付してください。  
 応募用紙は下記の「家の光公募サイト」からもダウンロードできます。  
 ※<https://www.ienohikari-koubo.com/syokunou-kamishibai/>  
 ○送付のさいには、折り曲げたり丸めたりせずに梱包してください。  
 ○応募作品の返却をご希望の方は、返送先を記入した着払い伝票を同封してください。  
 ※入選作品や返却希望の方の作品は、一定期間本会で保存し、令和4年2月中には返却予定です。  
 ○作品は、現物の他にカラーコピーやCD-R(ファイル形式はJPEGまたはPDF画像)、写真(2L判=127mm×178mm以上)での応募も可とします。ただし、その作品が2次審査の対象となった場合は、現物を送付していただきます。  
 ※送付いただいた個人情報、本コンクール以外の目的には使用しません。



## 注意事項

- 入賞作品はウェブサイト上に掲載し、ダウンロードして活用できるようにします。
- 応募は未発表のオリジナル作品に限ります。ただし、以下の項目に該当する作品の応募は可とします。
- ・食農教育ですでに活用している作品
  - ・他のコンクールに応募したが、入選していない作品
- 他の紙芝居の模倣・類似と認められる作品は、入選後であっても賞を取り消す場合があります。  
 なお、既存のキャラクターは使用禁止です。
- 昔話・民話等をもとにした作品は不可とします。



## 結果発表

入選者には電話またはメールで連絡します。(令和3年12月上旬予定)

なお、入賞作品は令和4年2月上旬より「家の光公募サイト」に掲載する予定です。  
 また、『家の光』などでも結果を発表します。(令和4年3月号予定)



### ●第11回紙芝居コンクール『最優秀賞』受賞作品

ニンくん・ニジさん・ジンくんの仲よし3ニンジンが大きくなるために力を合わせてがんばるお話。「にんにん じんじん」の呪文の場面は観客も楽しく参加できます。(12枚)

『にんにん じんじん』広島県 福本展大・福本華葉

イラスト/イヌイマサノリ



# 紙芝居のポイント

紙芝居は大勢の観客を前に演じるものです。絵本のようにひざにのせて読むものではありません。そこで、紙芝居を作るときは、紙芝居ならではの特性を生かすことが大切です。



より詳しく知りたい方は  
こちらへ！

## ①脚本

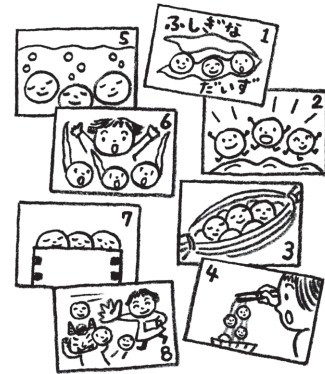
まずは、テーマを決めます。「演じる」ということをしっかりと頭に入れて、登場するキャラクターの会話を中心に、ストーリーを考えてみましょう。声に出して演じながら考えると、より効果的です。

★テーマはあれもこれもと欲張らず一つにしぼる！

★脚本は、全体のバランスも考えて、長くなり過ぎないように注意して。

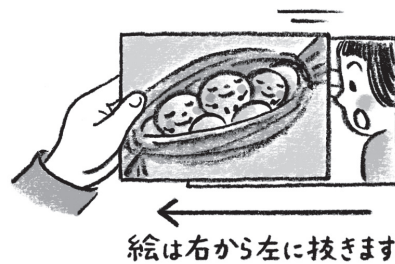
## ②箱がき

紙芝居の展開を吟味するために、場面ごとの下絵を描いてみます。これを「箱がき」といいます。下絵を見ながら、流れをよく検討しましょう。良い紙芝居は、テーマがしぼられていて一目で場面の状況が伝わり、リズムがあります。



## ③ひな型

「箱がき」をもとに、はがきサイズの紙芝居（ひな型）を作ってみましょう。紙芝居は観客から見て右から左に抜いていきます。「画面の`抜き、の`効果（次の場面に登場する人物は画面の右に書く等）」や全体のバランスを考えましょう。



## ④試演

「ひな型」の紙芝居を演じてみます。必ずだれかに見てもらい、感想を聞いてみましょう。試演することで絵や脚本を深め、作品の完成度を上げましょう。

## ⑤本書き

本書きをします。上手に描くことをあまり意識しすぎず、遠くからでも絵がよく見えることに重点をおき、のびのびと描きましょう。

★紙芝居は、舞台に入れて演じるものです。画面の端は、1.2～1.5cm くらい舞台の枠にかくれてしまいますので注意しましょう。

★画材や描き方を工夫し、遠くからでもよく見える絵に仕上げましょう。離れたところからでもよく見えるようでない、作品の良さが十分に伝わりません。クレヨンやパステルなどを使う場合は、色うつりしないように色止めスプレーを使うことをおすすめします。色鉛筆は薄いのでおすすめしません。



画面の端は  
1.2～1.5cmくらい  
舞台の枠にかくれます

イラスト／亀田麻衣

### 参考

### 絵と脚本の 書き方

紙芝居では、1枚めの絵の裏に2枚めの脚本、2枚めの絵の裏に3枚めの脚本……、というように書いていきます。従って、1枚めの絵の脚本は最後の絵の裏に書くことになります。また、画面を「抜く」ことを考えて、脚本は縦書きにします。1枚めからお話を始めるのも紙芝居のポイントです。

|                              |                                                                                  |       |  |
|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------|--|
| 作品名                          |                                                                                  |       |  |
| ふりがな                         | ふりがな                                                                             |       |  |
| 応募者名<br>(グループ名)              | 代表者<br>(グループの場合)                                                                 |       |  |
|                              | ふりがな                                                                             |       |  |
| 応募人数                         | 脚本                                                                               |       |  |
|                              | ふりがな                                                                             |       |  |
| 年齢(代表者)                      | 絵                                                                                |       |  |
|                              | 性別(いずれかに○)                                                                       | 男 ・ 女 |  |
| 住所(代表者)                      | 〒 —<br>※日中に連絡がとれる番号をお書きください。学校からの応募の場合<br>電話： ( ) 担当者名( )                        |       |  |
| 職業(代表者)<br>または、学校名・学年        |                                                                                  |       |  |
| 応募作品の返却<br>(いずれかに○)          | 有 ・ 無<br>※有の方は、返送先を記入した着払い伝票を同封してください。                                           |       |  |
| 作品に関する<br>コメントおよび<br>簡単なあらすじ |                                                                                  |       |  |
| 募集を知った<br>きっかけ<br>(いずれかに○)   | 1.雑誌『家の光』 5.「登竜門」<br>2.家の光公募サイト 6.前回応募した<br>3.チラシ 7.学校の授業や部活動<br>4.『公募ガイド』 8.その他 |       |  |